

# 令和7年度 福井県立鯖江高等学校スクールプラン

## 業務改善のための取組

- ・ 在校時間管理を活用し業務の効率化を高める。
- ・ 行事、委員会、会議のスリム化をすすめる。
- ・ 校務支援システムを活用し、校内の連携と業務の円滑化を行う。

## 人権教育の推進

- ・ 人間の尊さを知り、自他を大切にする生徒の育成を図る。

## 重点目標

(共通項目) 1 教育課程・学習支援	(共通項目) 2 生徒支援	(共通項目) 3 進路支援	(独自項目) 4 保健管理・教育相談	(独自項目) 5 読書支援・広報活動	(独自項目) 6 地域に根ざした学校づくり
授業、家庭学習の充実につ とめ、一人ひとりの学力を高 める。	基本的な生活習慣の確立を 図る。 生命や人権を尊重する精神 を育成する。	進路希望実現に向けて生徒 一人ひとりが努力を重ね、高 い目標に挑戦していく態度を 育成する。	心身の健康を自己管理でき る能力を育成する。	読書活動の充実を図る。 広報活動を充実させる。	地域を探究していく生徒を 育成し、保護者や地域に開 かれた学校づくりをめざ す。
<b>具体的取組</b> a 授業、家庭学習の充実に 努め、一人ひとりの学力を高 める。 目標:授業の理解度、分かり やすい授業の指数85%以上 b 学習手帳「みのり」を活用 し、家庭学習の習慣を定着さ せる。 目標:家庭学習の定着に関 する指数70%以上 c ICTを活用する授業改善 に努め、授業力を高める。 目標:ICT活用に関する目標 指数70%以上	<b>具体的取組</b> a 正しい服装容儀を身につ けさせるため、定期的に容儀 検査、登下校指導を実施し、 個別指導を徹底する。 目標:正しい服装容儀に関 する目標指数95%以上 b 保護者との連携(家庭訪 問、保護者懇談)を通して、 遅刻者を減らす。 目標:遅刻に関する目標指 数95%以上 c 生徒間の支え合いを通じ て、いじめ・問題行動の防止 に取り組む。 目標:啓発、指導に関する目 標指数90%以上	<b>具体的取組</b> a 進路学習などを通して、生 徒の実態に即した進路情報 を提供し、適性にあった進路 目標の早期設定に努める。 目標:①進路情報の満足度 に関する目標指数90%以上 ②進路目標の設定など進路 意識に関する目標指数90% 以上 b 就職・進学試験に向けて 全校体制で実施している面 接指導・作文指導を充実さ せる。 目標:面接・作文指導に関す る目標指数が95%以上	<b>具体的取組</b> a 健康管理について生徒に 啓発を行うとともに、その指 導を充実させる。 目標:日常の健康管理につ いての啓発、指導に関する 目標指数90%以上 b 安全・美化に対する意識 を高める指導を充実させる。 目標:安全で快適に生活す ることについての目標指数 95%以上 c 悩みなどの相談について 適切に対応する。 目標:悩みなどの相談につ いての目標指数90%以上	<b>具体的取組</b> a 読書意欲を啓発し、図書 館利用を促進する。 目標:読書に親しむことに関 する目標指数が70%以上 b 広報誌やホームページな どによる情報発信の充実を 図る。 目標:ホームページの更新、 内容に関する指数70%以上	<b>具体的取組</b> a 地域の文化や産業を題材 とした探究活動を推進する。 目標:探究活動に関する目 標指数70%以上 b 学校祭などで保護者等に 学校を公開する。

# 令和7年度 福井県立鯖江高等学校スクール・ポリシー

## スクール・ミッション【使命】

鯖江市の参画や協力を得て、様々な学科やコースを併せ持つ強みを生かした学びを充実させ、生徒一人ひとりの自己実現の達成を目指す。鯖江市内外の恵まれた人的・物的支援を活用しながら、生徒が地域社会で学び、卒業後、地域の産業や行政、コミュニティでリーダーシップを発揮できる人材を育成し、持続可能な地域社会の発展に寄与する。

## グラデュエーション・ポリシー【育てたい生徒像】

学校教育目標に掲げる知・徳・体のバランスのとれた人間力、今後ますます複雑化する社会を生き抜くための主体性、チャレンジ精神、論理的思考力、倫理観、寛容の精神をもつ人間を育成する。

## カリキュラム・ポリシー【特色ある教育課程】

### （探究科）

- ・探究活動を通して課題解決能力を育てるとともに、知的好奇心を高め探究心および目的意識の向上を図る。
- ・地域の人、団体や企業との協働活動等を通して、地域に密着した探究活動を実施する。また、大学と密接にかかわり、3年間を通して専門的な立場から適切な指導・助言を受け、より高度な探究活動を実施する。
- ・2年次から文理が分かれるため、1年次には幅広い教養を身に付けることを目指し、普通科目をバランスよく配置する。
- ・週33時間に設定し、自主活動時間を確保し、家庭学習や部活動などに組み入れるようにする。
- ・2年次、3年次では、文系も理系も大学入試に対応する応用力を育成できるよう、教科をバランスよく配置している。
- ・2年次ではシンガポール研修を行い、取り組んでいる探究活動を現地の大学生に発表し、グローバルな視点で物事を考え、英語の実践的なコミュニケーション能力を高める。

### （普通科 スタンダードコース）

- ・1年次は、総合的な能力の育成を図るため、2年次からの文理選択に移行できるよう、普通教科をバランスよく履修できるよう設定している。
- ・週33時間に設定し、自主活動時間を確保し、家庭学習や部活動などに組み入れるようにする。
- ・大学進学から就職まで多様な進路希望に対応するために、基礎基本を重視した授業を中心とした「標準クラス」と発展的な内容まで学習する「発展クラス」の2種類のクラスを設ける。
- ・「標準クラス」は、いずれのクラスも普通科目をバランスよく履修し、各々の個性伸長や適性理解などに役立てる。
- ・「発展クラス」は、個々に教科・科目を選択することができ、大学入試に対応する力を育成できるよう普通科目を多く設定している。
- ・「総合的な探究の時間」では、探究科同様、人間力や主体性、論理的思考等を養うために探究活動にも重きをおいている。

### （普通科 スポーツ・健康福祉コース スポーツ専攻）

- ・週6～8時間を専門科目（体操や駅伝に特化した）履修のために確保し、身体の科学的な分析やトレーニングを行い、各々の競技力向上を目指す。
- ・将来は体育大学などへの進学を目指し、競技を継続できるよう基礎力を育てる。

### （普通科 スポーツ・健康福祉コース 健康福祉専攻）

- ・週6～8時間を専門科目履修のために確保し、社会福祉・保育と健康・栄養など健康科学について実習も含めて幅広く学べるようにする。
- ・ボランティア活動や特別支援学校との交流を通して、多様な社会における健康福祉の重要性を学び、主体的に社会に関わっていく態度を育てる。
- ・介護職員初任者研修を開講し介護人材の育成を行う。

### （普通科 IT・デザインコース IT専攻）

- ・週6～8時間を専門科目「情報の表現と管理」「情報テクノロジー」「情報システムのプログラミング」「情報実習」「データベース」を確保している。
- ・情報産業を支える知識・技術を身に付けるための専門情報の科目を学習する。
- ・授業で作成したプログラムの公開やIT関係のボランティア活動等による社会との関わりを通して、地域のIT分野のニーズを理解し、それに対応できる知識や技能を主体的に身につけようとする態度を育てる。

### （普通科 IT・デザインコース デザイン専攻）

- ・週6～8時間を専門科目「素描」「ビジュアルデザイン」「映像表現」「絵画」に確保し、充実した専門施設で美術・デザイン・工芸を専門的に学び、創造的な表現と鑑賞の能力を高める。
- ・「素描」では美術の基礎的な技能であるものを見る力や描写力を身に付け、その力を生かすために「絵画」では主に油絵を学べるようにする。
- ・「地域のデザイン」では、プロの眼鏡デザイナーから、眼鏡の製造についてデザインから製造まで一貫して学び、プロのデザイナーから実践的なデザインについて広く学べるようにする。
- ・地域の産業である眼鏡等の伝統産業や、漆器等の伝統工芸の活性化につながる総合的なデザイン力の育成を目指し取り組む。

## アドミッション・ポリシー【入学時に期待される生徒像】

- (1) 知的好奇心や探究心をもち、探究活動や発展的な学習に取り組むとともに、行事や部活動等に積極的に取り組みたい生徒
- (2) 自分の夢と希望を実現させるため、目標に向かってチャレンジしようとする生徒
- (3) 互いの個性を尊重し合いながら、自らが学校生活を楽しくもうと行動できる生徒